



従業員の健康管理に対する企業の取り組みが変わり始めています。
少子高齢化が進行する中、65歳までの継続雇用義務化もあり、各企業とも従業員の平均年齢は上昇し、個人にとっても企業にとっても、ますます健康管理が重要となってきました。従業員の健康は、企業や健康保険組合の医療費支出を抑制するにとどまらず、ひいては将来、企業の業績向上につながります。
経営視点から、従業員の健康保持・増進を、将来的に収益性等を高める投資と考え、戦略的に取り組む「健康経営」。
経済産業省と東京証券取引所も平成26年度より健康経営に優れた企業を「健康経営銘柄」に選定し、日本再興戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に対する取り組みの一環として実施し始めました。
今回のフォーラムは健康経営に取り組んでいる3社の事例紹介とトークセッションを行います。
参加を希望される方は、裏面の申込書にて会員申請の上、お申込み下さい(入会金・年会費・参加費無料)。

プログラムのご紹介

トークセッション「健康経営が会社を強くし、未来を創る！ ～社員の健康増進で企業価値を高める～」

日時：11月20日(金) 16:00~18:00 場所：新丸の内ビルディング14Fパソナキャリア研修室(〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1)

*セミナー終了後、懇親会を予定しております。軽食と飲み物をご用意致しますので、お時間の許す範囲で是非ご参加下さい。

登壇者



株式会社ローソン
理事執行役員 人事本部長
日野武二氏

メッセージ

健康は、本人だけでなく家族を含めた望みであり、会社の発展にとっても欠かせない要素です。家庭生活が充実してこそ、仕事で最高のパフォーマンスが発揮できます。ローソンではコーポレートスローガン「マチの健康ステーション」に基づき、お客さまの健康生活全般をサポートするとともに、ローソングループで働く社員の健康増進に向け、様々な取り組みを行ってまいりました。
今回、会社・労働組合・健康保険組合の3者が協力して展開してきました「アクションプラン」「ローソンヘルスケアポイント」についてご紹介致します。
当日は、皆様と健康経営について意見交換ができますことを楽しみにしております。

プロフィール

1989年株式会社ダイエーコンビニエンスシステムズ(現株式会社ローソン)入社、スーパーバイザー(店舗指導員)を経て、人事部門に。人事部門では幅広く給与、制度企画、労政を担当し、4年間の秘書室勤務後、2014年4月より現職。社員健康・ダイバーシティを担当し推進している。



アサヒビール株式会社
人事部長
杉中宏樹氏

メッセージ

本年6月政府から発表された日本再興戦略では、国民の健康寿命延伸のため「健康経営度調査等、健康経営普及のための取り組みを引き続き実施する」と掲げられています。
また企業においても、従業員高齢化やメンタル不調者増加は生産性にも影響を与える重要な経営課題であり、企業が従業員の健康保持・増進に積極的に取り組む必要性は高まっています。
今回のフォーラムでは当社健康支援の取り組み事例をご紹介します。アルコール業界ですので健康管理には注意していますが、決して珍しいことは行っていません。地道な取り組みを積み重ねてきた結果、企業経営に有益であったと考えています。当社事例が皆様の健康経営のヒントの1つになれば幸いです。

プロフィール

1989年入社。支社・工場総務部門を経て、アサヒ飲料社に転出。飲料ビジネスにおける人事制度改革に取り組む。また、カルピス社との自販機合併会社であるアサヒカルピスビバレッジ社設立での統合業務に携わる。2013年復職。
現在、人事部長職として「会社と個人の理想的関係の構築」をテーマに、人事諸施策に取り組んでいる。



株式会社タニタ
社長補佐(兼) 事業戦略部長(兼)
ヘルスケア・ネットサービス推進部長
丹羽隆史氏

メッセージ

「健康経営」という言葉が、昨今新聞や雑誌に取り上げられるようになりましたが、当社がこの取り組みをスタートさせてから7年になります。従業員の健康に配慮することによって活力を向上させ、組織の活性化につながる「健康経営」ですが、健康な方に健康への取り組みの重要性を訴えても響きません。これは「健康をはかる」タニタの従業員においても同じです。
では、どうしたら健康に関心の低い方にも参加してもらえる仕組みを構築できるか？また、この取り組みをどう企業価値向上につなげていくのか？我々自身まだ明確な解にたどり着けておりませんが、タニタの取り組みについて紹介させていただきます。
皆様からのご質問やご意見を賜り、有意義な時間を共有できれば幸いです。

プロフィール

1990年中央大学法学部卒業後、ミサワホーム株式会社に入社し、経営企画業務を担当。2003年にコナミ株式会社に入社、コナミホールディングス経営企画グループGM、コナミスポーツ&ライフe-フィットネス事業部長、法人会員事業部長、コンピュエルネス取締役を担当。
2013年にタニタ株式会社に事業戦略部長として入社し、健康経営の推進、事業戦略の立案を担当する一方、タニタヘルスリンク取締役副社長として事業全般を担当し、現在に至る。次世代ヘルスケア産業協議会健康投資WG委員。

司会進行



株式会社パソナメディカル
東京営業部 副部長
水内桃江

2002年株式会社パソナに入社、営業部門でコーディネーター、営業責任者を経験。現在は、株式会社パソナメディカルにて、企業内健康管理室の業務委託運営、産業医・保健師の人材ソリューションを提供するとともに、産業保健を軸に企業の「健康経営」実現に向けたヘルスケアトータルソリューションの企画・営業を行っている。

